とっとり観光ニュース 2017年1月号

1. 酉(とり)年を『“鳥”取県』で迎える

【1】鳥取県の由来って知ってました？？？

古代、鳥取県東部の鳥取市にある久松山（きゅうしょうざん）付近は、湖や沼が多く、水鳥が多く飛来していました。この鳥をとることを仕事にしていた鳥取部（ととりべ）が住んでいたことから、この辺りを鳥取と呼ぶようになったそうです。

【2】鳥取県マスコットキャラクター「トリピー」

鳥取県のマスコットキャラクター「トリピー」は、2017年に20歳の誕生日を迎えます。鳥取県の特産品の梨と鳥をイメージした愛らしいキャラクターは子供から大人まで年齢層も幅広く人気で、県内外の各種イベントで大活躍しています。

●身長　171．9㎝　●体重　67kg　●胴まわり　241㎝　●足のサイズ　36cm　●目の大きさ　直径13cm

■問合せ　　鳥取県観光戦略課　電話 0857-26-7638　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.tottori-guide.jp/characters/

【3】おいしい「鳥取地どり ピヨ」を食べよう

本物志向の高まりの中で、品質の高い肉用鶏を開発するため、シャモ（軍鶏）をベースに品種や飼育方法等、様々な条件をクリアされたものが鳥取地どりピヨです。肉は歯ごたえが良く、コクがあり、鶏肉本来の野性味あふれる懐かしい味です。水炊き、焼き鳥、唐揚げはもちろん、すき焼きなどでも美味しく召し上がっていただけます。鳥取市の鹿野温泉「山紫苑」では、鳥取地どりピヨのお料理をお楽しみいただけます。鹿野地どりの生姜焼き丼は絶品です。

■問合せ　国民宿舎山紫苑（鳥取市鹿野町今市972－1）電話 0857-84-2211　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.sanshien.jp

【4】初日の出を拝みながら、コハクチョウの観察

公園がある中海周辺は、国内で確認された野鳥の約42%の種類が確認されており、山陰屈指の野鳥の生息地です。コハクチョウは朝方に公園を飛び立ち、島根県の水田地帯へ行き、落ち穂や草の根を食べ、夕方になると水鳥公園へ帰ってきます。そんなコハクチョウの観察を、大山の裾野から昇る初日の出と共に、お楽しみください。

≪初日の出！コハクチョウ観察会≫

■日時　1月1日（日・祝）7:00～8:00

≪ドングリコマ回し大会≫≪水鳥公園の生きものカルタで遊ぼう≫

■日時　　1月1日（日・祝）～9日（月・祝）　※開館時間中はいつでもできます。

■問合せ　米子水鳥公園（米子市彦名新田665）電話 0859-24-6139　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.yonago-mizutori.com/

2. 酒米から作りあげる　皆生温泉オリジナル日本酒「海に降る雪　上代(かみだい)」

皆生温泉オリジナル日本酒「海に降る雪　上代」の新酒が、年明けの2月末に完成します。平成20年から取組みが始まり今年で9年目。皆生温泉の近くを流れる日野川の上流部西伯郡伯耆町の水田で、酒米「五百万石」を田植えから稲刈りまで手作りし、12月に境港市の酒造会社で醸造します。純米大吟醸のあられ酒で発泡性の強いやや辛口の味わいは、幅広い年齢層に人気のお酒です。またこのお酒を使ったジェラートや豆腐ケーキなどのオリジナル商品が、皆生温泉の土産物店「皆生横丁きないや」にて発売中です。

■問合せ　皆生温泉旅館組合　電話 0859-34-2888　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.kaike-onsen.com/

3. 大山の「森の国」で雪のキャンプを楽しむ♪

森の中の自然豊かなキャンプ場、アスレチックやドッグラン、体験プログラムなど、さまざまな遊びを体験できる「森の国」。この冬、雪が降る白銀の中でもウィンターキャンプが楽しめるようになりました！寒さが心配な方には、この冬から導入した薪ストーブ完備の室内テント泊も可能です。

■休園日　12月31日、1月1日、毎週水曜日（1月4日を除く）　■営業時間　9:00～17:30

■問合せ　森の国（西伯郡大山町赤松634）電話 0859-53-8036　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.japro.com/morinokuni/

4. 県内を周遊して、鳥取の肉や米を当てよう！

「とっとりで待っとります！！キャンペーン　鳥取の肉と米を当てよう！」を好評開催中。観光パスポート「トリパス」内で実施中のスタンプラリーのスタンプを2個集めて、応募すると、抽選で鳥取和牛や鳥取のおいしい米が当たります。

■応募締切　平成２９年２月１２日（日）まで

■応募箱　　県内６カ所の観光案内所に設置

■問合せ　（公社）鳥取県観光連盟　電話 0857-39-2111

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.tottori-guide.jp/toripass/

5. 若手作家の民工藝にふれる　～　陶工房　根-ne（ネネ）～

鳥取市に窯元をかまえて活躍されている「陶工房　根-ne」。温かい色味や、モダンで使い勝手のよいデザインは、幅広い年代に人気です。また、可愛いイラストがモチーフになっている作品や、針でひっかいて彫を入れ、色を入れていく独自の絵付け方法で、立体的な模様を表現しており、新しい陶器のデザインが魅力的です。個人向けの陶芸体験も電話にて受け付けています。

■問合せ　　陶工房　根-ne（鳥取市古海48）　　電話 090-7507-2499

6. イベント情報

【1】石谷家のお雛さま展

江戸時代、参勤交代の宿場町であった智頭宿。因幡街道に面する国の重要文化財「石谷家住宅」は敷地面積3，000坪、部屋数40余りによって構成されています。見上げれば巨木の梁組み、大黒柱の輝きと、大規模な近大和風建築物として高く評価され、現在は一般公開されています。蔵及び母屋各部屋を利用した歴史あるお雛さま展をお楽しみいただけます。

■開催日　　平成29年1月20日（金）～3月30日（木）

■問合せ　　石谷家住宅（八頭郡智頭町智頭396）　電話 0858-75-3500

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.ifs.or.jp/

【2】三朝温泉「雛めぐり」

三朝温泉街の旅館、商店、施設で飾られているお雛様を見ながらスタンプラリーを楽しむことができ、チラシ持参で、各種特典を受けられます。この時期限定の雛ランチも必見です。

■開催日　　平成29年2月15日（水）～3月15日（水）

■問合せ　　三朝温泉観光協会　電話 0858-43-0431

【3】もちがせ流しびな行事

毎年旧暦の3月3日に開催される、流しびな行事。江戸時代から伝わる行事で、無病息災を祈り男女一対の紙雛をさん俵にのせ、菱餅や桃の小枝を添えて流します。毎年多くの観光客がこの行事を一目見ようと訪れます。

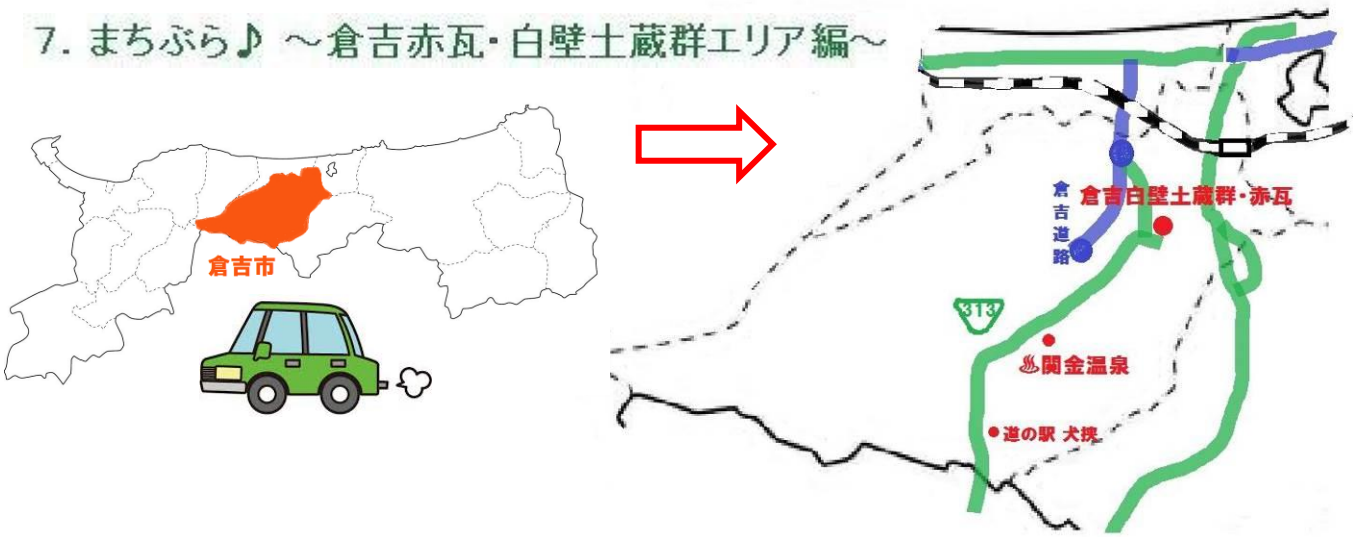
■開催日　　平成29年3月30日（木）

■問合せ　　もちがせ流しびなの館（鳥取市用瀬町別所 32-1）

電話 0858-87-3222

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://nagashibinanoyakata.jp/

7. まちぶら♪ ～倉吉赤瓦・白壁土蔵群エリア編～



【1】倉吉絣（くらよしがすり）でまち歩き♪

江戸時代から伝わる倉吉の伝統工芸「倉吉絣」。絵絣（えがすり）と呼ばれる美しい柄の着物をまとい、白壁土蔵群の町並みを歩いてみませんか。着物のレンタルには、着付けやヘアアレンジも付いているので、着物初心者にも安心です。オプションで、観光ガイドや選べるランチを付けることもできます。

■料金　　3,800 円　※平成29年4月より料金改定
■定休日　　毎週月曜日、年末年始
■所要時間　　2時間（11:00～13:00、14:00～16:00）
■催行人数　　2名～　※7日前までに要予約
■問合せ　　倉吉観光マイス協会　　電話 0858-24-5371
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.apionet.or.jp/kankou/html/wahtnew/wahtnew_148.html

【2】赤瓦二号館「ワイン蔵」

地元産のブドウを醸造し販売している西日本を中心としたワイナリーの銘柄を取り扱う日本ワインの専門店。オーナー自ら、自家農園で栽培したブドウを醸造したワインも販売。落ち着いた雰囲気の店内には、ワインがずらりと並び、試飲もできるバーカウンターもあります。

■定休日　　不定休　　■営業時間　　10:00～17:00
■問合せ　　ワイン蔵（倉吉市東仲町 2583　赤瓦二号館　玉川側）
電話 090-4908-5686

【3】開運願って、福の神を巡る「倉吉　福の神巡り」

白壁土蔵群のあちらこちらに約40体ある木彫りの福の神。宝くじが当たったといわれる布袋さん、火災から酒屋店舗を護ったといわれる福禄寿など、倉吉市在住の3人の仏師によって命を吹き込まれた福の神を、観光ガイドと巡って開運祈願できます。昔ながらの白いたいやきと、福が詰まった「福守り」のお土産付き。

■料金　　500 円／お一人様　　■所要時間　　約50分
■催行人数　　15名～40名　※10日前までに要予約
■問合せ　　倉吉観光マイス協会　　電話 0858-24-5371
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.apionet.or.jp/kankou/html/tour9.htm

【4】明治時代に建てられた古風な町屋で「餅しゃぶ」を味わう

創業から百余年、倉吉老舗のお餅屋さん。現在は、餅屋ならではの名物「餅しゃぶ膳」が県内外からの観光客に喜ばれています。お餅の他にもカニや東伯牛、マーブルポークなどボリュームたっぷりのしゃぶしゃぶをお楽しみください。

■営業時間　11:00～21:00

ランチ 11:00～14:00（定食 11:30～）、夜 17:30～21:00

■問合せ　　有限会社町屋清水庵（せいすいあん）

（倉吉市堺町１－８７６）　電話 0120-418-483

【5】食後は石臼珈琲でゆったりした時間を♪

店頭にステキな珈琲カップが並んでいる「久楽（くら）」。１階はお土産が並んでおり、２階がカフェスペースとなっています。ここの珈琲は、自分でコーヒー豆を挽くことができますが、豆を挽く器具は、石臼です。石臼を使うことで、風味が保たれて、まろやかな味わいの珈琲をいただくことができます。また、驚くことに珈琲と一緒に出てくるのが、砂糖ではなく「煮小豆」。ほんのりした甘さと珈琲の風味は絶品です。

■営業時間　9:00～17:00

■問合せ　久楽（倉吉市親町１丁目　赤瓦五号館）

電話 0858-23-1130

【6】お正月に、倉吉いか（凧）づくり！

伝統を受け継がれている「倉吉いか」。凧なのに、どうして「いか」と言うのか？もともと関西地方では「いか」と呼ばれていたものが、関東へ伝わる時に、関西の「いか」に対して「たこ（凧）」と呼ばれるようになったと言われています。職人さんがひとつひとつ手作りされ、オリジナルの絵付けもできるので、世界に一つだけの凧や、お子さんやお孫さんの名前を入れた「出世凧」や、お店の名前を入れた「五合（はんじょう）凧」も作られています。

■定休日　火曜日　　■営業時間　10:00～17:00

■問合せ　凧工房（倉吉市東仲町2586）　電話 0858-23-3453

【番外編】一足のばして～関金温泉でほっこりしよう♪

単純放射能泉（ラジウム泉）の温泉で、気軽に立ち寄れる日帰りの温泉施設です。岩風呂と木風呂の各種お風呂があり、１週間ごとに男女を入れ替えています。季節にちなんだ色々なイベントが開催され、お食事処やリラクゼーションスペース、キッズスペースもあります。日頃の疲れが癒されること間違いなし！

■問合せ　関金温泉　せきがね湯命館（倉吉市関金町関金宿１１３９）　電話 0858-45-2000

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://yumeikan.com/index.php

8. 冬景色 ～仁風閣～

鳥取市は、旧鳥取藩主池田家の居城・鳥取城のある久松山を中心として発展した都市で、この城跡に建っている洋風建築が国の重要文化財「仁風閣」です。建物はヨーロッパのフレンチルネッサンス様式を基調とした白亜の洋館です。現在は、周辺にある久松公園・鳥取城跡も含めて、春は桜、秋は紅葉の名所として全国各地からたくさんの人々が訪れます。雪の積もった仁風閣も格別です。

■問合せ　仁風閣（鳥取市東町２－１２１）
電話 0857-26-3595
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.tbz.or.jp/jinpuukaku/

9. 野花梅渓（のきょうばいけい）を楽しむ

湯梨浜町の野花地区には、東郷湖・日本海を望む山陰随一の野花豊後の梅林があります。例年3月上旬から下旬頃に、約2，000本の梅の木が咲き誇り、ピンク色の美しい花が春の訪れを感じさせます。

※なお私有地のため、散策ツアー以外で梅林に入ることは原則お断りしています。

【団体向け 散策ツアー】 ■参加費 330円 ■催行人数 20名～120名

【個人向け 散策ツアー】 ■参加費 700円 ※中国庭園燕趙園の入場と中国グッズのセットプランか、ゆアシス東郷湖龍鳳閣の中国風呂とタオルのセットプラン

■問合せ　湯梨浜町観光協会　電話 0858-35-4052　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.yurihama-kankou.jp/

平成28年12月22日発行

〔とっとり観光ニュースとは…〕

鳥取県内の最新イベントや観光情報をご案内しています。マスコミ、旅行会社の皆さまをはじめ、多くの方にご活用いただけるよう定期的にお届けします。複製・転載可です（一部画像を除く）。また写真はイメージです。ご不明な点はお問い合わせください。バックナンバーは、ホームページよりご覧ください。

〔編集・発行・問合せ〕公益社団法人 鳥取県観光連盟
電話 0857-39-2111　FAX 0857-39-2100　E-mail kanren@tottori-guide.jp
鳥取県の観光情報ホームページ → とっとり旅の生情報　http://www.tottori-guide.jp/